

# 複合フローリング(釘打用)の施工方法

## 施工前の注意

1. 保管する場所は湿気の多い場所を避け、極力直射日光が当たらないようにし、水平に置いてください。
2. 天然の表面単板ですので、多少色柄が異なります。必ず施工前に仮並べを行い、色柄あわせを行ってください。
3. 問題がある場合は施工せずに、弊社に連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受けできません。

## 施工上の注意

1. 接着剤は一液ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。厚単板フローリングのため、塗布量は多めにし、確実に固定してください。短手部及び長手部の突きつけは両方のフローリング裏面に接着剤を付着させてください。(床鳴り防止のため)
2. ステーブル釘(38mm以上)を使用して、約45度の角度で確実に打ってください。短手オス実部は無理に叩き込まずに2か所以上の釘打をしてください。(フィニッシュネイル・ブラッドネイルは使用しないでください)
3. 部屋の端部においては、フローリングの端面の突き合わせ部から3~5mmほど間隔を空けて施工してください。
4. 仮並べをして全体としても色調のバランスをとってください。

## <温水マット式床暖用をご使用の場合>

5. 接着剤は、小根太の上および小根太の延長上のマット表面に塗布して、短手部の突きつけは両方のフローリングの裏面に接着剤が付着するようにしてください。
6. 釘打ちは、温水マットの小根太上およびダミー合板部分のみで行ってください。
7. 温水マットの小根太部分以外には絶対に釘を打たないでください。
8. フローリングの木口(エンドマッチ部分)の接続が、温水マットの小根太の上にくるように施工してください。
9. 温水マット周辺部のダミー合板は、温水マットと同厚である12mm合板(JASタイプ1)を使用し、段差がないように仕上げてください。
10. 温水マットとダミー合板の境目には、フローリングの継ぎ目が重ならないように割り付けしてください。
11. 小根太がなく釘打ちができない場所は、接着剤を増やして重しを置き確実に固定してください。(床鳴り防止のため)

## 施工後の注意

1. 表面保護のため、必ず養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生してください。ただし床材に直接養生テープを使用することは避けてください。塗装剥離を起こす可能性があります。
2. 養生シートを敷いた後で作業を行う場合は、床材表面に傷をつけないようにフロア養生板でさらにカバーされることをお勧めいたします。